

パーソナルファイナンス論		教授 矢島 格	
科目カテゴリー	会計ファイナンスコースの 専門選択科目 教職科目	科目ナンバリング	23020202 25320229

1. 授業のねらい・概要

F P（ファイナンシャル・プランナー）に求められるパーソナルファイナンス（個人および家計のためのファイナンス）について、わかりやすく説明する。この授業は、パーソナルファイナンスの様々な分野のうち、特にライフプランニングの分野を中心に説明する。F P業務におけるパーソナルファイナンスの概要を理解してもらい、さらに、F P資格取得にも興味をもってもらいたいとする。なお、本科目の履修にあたっては、「FP 概論」を履修しておくことが望ましい。

2. 講義の進め方

第1回～第14回では、テキストを使いながらFP業務に必要なパーソナルファイナンスについて講義形式で説明する。なお、適宜、F P技能士2級レベルの小テストも実施する。最後の第15回では、まとめと復習を行う。

3. 授業計画

1. パーソナルファイナンスとは？	8. 労災保険と雇用保険
2. ライフプランの作り方	9. 各種ローンとクレジットカード
3. 教育資金設計	10. リタイアメントプラン
4. 住宅資金計画と住宅ローン（1） （住宅取得費用の計算、住宅ローンの概要）	11. 公的年金制度（1） （公的年金制度の概要、老齢年金について）
5. 住宅資金計画と住宅ローン（2） （住宅ローンの返済計画の立て方）	12. 公的年金制度（2） （障害年金・遺族年金について）
6. 社会保険制度	13. 退職後の医療と介護保険制度
7. 健康保険	14. 企業年金制度
	15. まとめと復習

4. 準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

毎回の授業を受講するまでに前回の授業内容を、配布プリントやノートを使って復習しておく。また、F P技能士2級試験の過去問を自習することも奨励する。なお、これらの準備学修には、1時間以上が必要である。

5. 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

試験実施の際、解答のポイントおよび出題意図を試験終了直後に説明する。

6. 授業における学修の到達目標

ライフプランニングの分野において、F P技能士2級合格レベルの知識が修得できる。

7. 成績評価の方法・基準

①授業への取り組み姿勢（30%）、②課題等に対する内容（20%）、③定期試験の結果（50%）によって、評価する。

8. テキスト・参考文献

テキストは、授業開始時までに指定するので毎回の授業に必ず持参すること。また、参考文献は適宜紹介する。

9. 受講上の留意事項

受講の要件は特にないが、F Pの仕事に少しでも関心があることが望ましい。疑問や不明な点については、遠慮なく質問してもらいたい。